



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

政権投げ出した岸田首相「高齢者の医療費3割負担」を議論 総選挙近し？ 自民党政治を大本から変えよう



9/13 JA新潟県厚生連の塚田芳久理事長と懇談する遠藤

1日県内を駆け巡り、医療介護の現場の声を聞く
9月13日、遠藤れい子は藤野保史衆院選北陸信越ブロック予定候補とともに、新潟市、長岡市の医療機関を訪問し話を聞きました。
午前は新潟医療生協の鈴木克夫理事長と懇談。木戸病院の成り立ち、地域医療のあり方等について貴重な経験を伺いました。
次にJA新潟県厚生連本部の塚田芳久代表理事、理事長から、現場の実状を聞きました。都市と地方の病

院経営の違い、現行制度の枠内で努力を積み重ねているが、地域医療を支えるためにはたいへん厳しいと。午後には、長岡赤十字病院の藤田信也院長、小柳智秀事務部長と懇談。赤十字病院として重症患者や救急を扱う病院としての経営の厳しい実態をリアルにお聞きしました。
次になががおか医療生協の樋口歩専務理事と土田武千代常務理事と懇談。新型コロナナ5類変更後の影響、介護報酬改定の影響、ケアマネージャーのなり手がいない要因など、介護人材養成に努力しているが大変厳しい実態にあるなど介護現場の実情をお聞きしました。
患者・利用者と病院や介護施設を守る知恵を
経営形態の異なる4つの医療・介護施設でそれぞれ実状をお聞きしましたが、共通していたのは「必死に努力しているのに経営が大変。このままでは現状を維

持することも大変だ」という声でした。
診療報酬・介護報酬制度をはじめ、現場の声を生かした抜本的な改善が待たないです！
政権を投げ出した岸田首相は「高齢者の医療費窓口負担を3割に統一する」などと議論を始めました。総選

遠藤れい子の笑顔でファイト

再稼働賛成の市議と再稼働反対の

始めました。

原発再稼働の可否は県民投票で「県民投票条例の制定を求める」直接請求署名



9/15 会議で県民投票条例を進めようと言っている遠藤れい子

現在、具体的な準備が進められています。みんなで学びながら、署名を集めていきましょう。

遠藤を招いて、双方の意見を聞く学習会も開かれました。
今度は、柏崎刈羽原発の再稼働に「賛成か、反対か」を県民投票によって意志を示そうと、県民投票条例の制定を求める直接請求署名運動が開始されました。



長岡赤十字病院ドクターヘリ医師看護師が搭乗し救急治療を行う

挙近しの報道もあります。自民党政治を変えるチャンス、生活防衛のために頑張らしましょう。